

4 公開シンポジウム及び課題研究

公開シンポジウム

期日等 平成29年8月5日(土) 14:00～17:00
会場 講義棟301

テーマ **教育委員会と大学との連携によって、 教員の資質・能力はどのように変わるか**

趣旨

平成27年12月の中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)」では、教員の養成・採用・研修の各段階における主な課題とそれに対する具体的方策を示し、養成・採用・研修が教員の学びを支援する一貫した体制となるよう新たなデザインが提案された。また、それを推進し、学び続ける教員を支えるキャリアシステムの構築のための体制整備として、「教育委員会と大学等との協働・調整のための体制(教員育成協議会)の構築」、「教育委員会と大学等の協働による教員育成指標、研修計画の全国的な整備」、「国が大綱的に教員育成指標の策定指針を提示、教職課程コアカリキュラムを関係者が協働で作成」することも述べられている。

同答申を受け、平成28年11月には、教育公務員特例法等の一部改正が行われた。例えば教育公務員特例法では、公立の小学校等の校長及び教員の計画的かつ効果的な資質の向上を図るため、文部科学大臣は指標の策定に関する指針を定めること(第22条の2)、公立小学校等の校長及び教員の任命権者には、指針を参酌し校長及び教員としての資質に関する指標を定めること(第22条の3)、指標を踏まえ、毎年度、教員研修計画を定めること(第22条の4)、指標の策定や校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項を協議する協議会を組織すること(第22条の5)などが規定された。これらにより、我が国の校長及び教員の資質能力の向上策については、論議の段階から実践の段階へと移行しつつあるとすることができるであろう。

そこで、本シンポジウムでは、こうした教員の資質向上策に対して、教育委員会及び大学はどのような対応をしているのかなど、先進的事例に学びつつ、今後の在り方について検討したいと考えている。シンポジストは、下記の方々である。

シンポジスト

- ・ 牛渡 淳 (仙台白百合女子大学)
- ・ 多田 孝志 (金沢学院大学)
- ・ 高橋 仁 (宮城県教育委員会(教育長))
- ・ 松木 健一 (福井大学)

コーディネーター 水原 克敏 (早稲田大学) 瀬戸 健 (上越教育大学)